

あべともこニュース

号外

立憲民主 RIKKEN MINSHU

NPT体制は限界、核兵器禁止こそが急務

◆ IAEA、ザポリージャ原発へ
9月1日、世界の原子力の安全強化を進める「核の番人」IAEA(国際原子力機関)がウクライナのザポリージャ原発の調査を開始しました。

今回のロシアのウクライナ侵攻で戦禍に巻き込まれたヨーロッパ最大の同原発、砲撃等により爆発が発生すれば、チヨルノビリ原発事故の10倍の被害をもたらすという報道も。原発周辺では火災により、原子炉冷却のために必要な電力供給が途絶え、重大事故に繋がる恐れもあります。

調査団のグロッシ事務局長は、専門家を常駐化させ、現状把握を進めると言いますが、果して事態沈静化に繋がるかどうか...。
「ソ連の核弾頭1発の破壊力は、チエルノブイリ原発事故の1000件分に相当する。人類がそんな恐怖の中にいるという認識が、核軍縮への取り組みを決意させた」。8月30日に逝去したゴルバチョフ氏のかつての言葉を世界のリーダー達が胸に刻むべきです。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区(藤沢市・寒川町) 当選8回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長
現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ公式Twitter @abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中!

争点	最終文書案	NPT再検討会議の最終文書案を巡る主な争点
核兵器禁止条約	「条約発効と締約国会議開催を認識」	核軍縮推進派国が言及求める
兵器用核分裂性物質生産の一時停止要求	再改定で削除	中国が反対
ザポロジエ原発周辺での軍事活動	「重大な懸念」(ロシア名指しは削除)	ロシア不満、ウクライナは名指し要求
核保有国に「核先制不使用」政策要求	初回改定で削除	米英仏などが反対
非核保有国への核不使用	「国際的枠組みの交渉要請」	法的拘束力持つ仕組み除外せず
米英露の安全保障枠組み(TAUKUSJ)	「締約国が関心」	中国が豪への原潜導入懸念
被害者への言及	「被害を受けた人々」との交流呼びかけ	「被害を受けた生存者」から変更

◆ NPT再検討会議決裂、体制の限界
8月1日から26日に国連本部で開催されていた核拡散防止条約(NPT)再検討会議、ロシアの反対で最終文書が採択できず、2015年開催に続き2回連続での決裂に。機能不全が指摘されています。
今回のロシアの反対理由は、占拠するザポリージャ原発の返還がロシアを名指しするものではないものの、草案に記載されていたからとされます。広島の被爆者団体からも不採択に失望と怒りの声が出た。日本の総理として初めて参加の岸田総理は、今こそ唯一の戦争被爆国として核軍縮外交をリードすべきです。

◆ 寒川町でのFLT、県内初の取組み!
24日、水野もとこ参議院議員、茂内久代寒川町議と寒川町教育委員会へ。英会話取得のためには、2400時間を要するとされますが、我が国の学校での学習時間は1000時間程度。寒川町では、県内初の取り組みとして、FLT(外国人指導者)の先生8名が町内全ての小中に常駐し、授業内外で子どもたちが英語を使用する機会を格段に増やし、校外英語イベントも開催。本格的なグローバル教育推進に町全体で取り組んでいることを伺いました。
GIGAスクールの取り組みでも、子どもたちが情報端末を使用して調べる、時には英語を使ってアクセスする場面もあるとのこと。支援員の増員の必要などの課題もありますが、コロナ禍で、子どもたちの学びの確保が懸念される中、未来を担う子どもたちのグローバル教育を進めておられます。



写真:左から、水野参議院議員、教育長、阿部知子、茂内町議